

## 「防災」が変わる。「防災」を変える!

台風が全国で猛威を振るったその中で、メディアに多く取り上げられたのが「ハザードマップ」だ。さて、ハザードマップ! 皆様は御存知でしょうか?

例えば、加古川市の洪水ハザードマップ。浸水想定区域が示されている。これらは「兵庫県CGハザードマップ」に基づいて作成されている。その、加古川市洪水ハザードマップの想定に用いられた河川の氾濫条件があります。何かというと、加古川本流は**2日間総雨量が271mm**(概ね150年に1回程度)の大雨が降った場合です。また加古川水系の曇川、国安川、別府川、白ヶ池川では、**1日の総雨量が189mm**(概ね100年に1回程度)の大雨が降った場合、また別の加古川水系の水田川、西川、権現川、磐川、小川、草谷川、法華山谷川水系、喜瀬川水系、泊川水系では、**1時間の総雨量が66.2mm**(概ね100年に1回程度)の大雨が降った場合という氾濫条件の基準値として算出されています。ここで気づくのが「概ね150年に1回程度の大雨」「概ね100年に1回程度の大雨」という言葉。必要だろうか?



例えば、今回の台風被害で河川氾濫した**長野県の千曲川**では、2日間で396mm・流域全体(1000年に1回程度の降雨・1年間にその規模を越える洪水が発生する確率が1/1000程度)。**福島県の阿武隈川**では、2日間で323mm(1000年に1回程度の降雨・1年間にその規模を越える洪水が発生する確率が1/1000程度)という想定。これが、人の意識が迷いを起こす言葉になってしまっている。「千年に1回程度」と「発生する確率が1/1000程度」だ。これを見た人・聞いた人のほとんどは「自分の事」としてとらえることができるのでしょうか?

天気予報で「**本日の雨が降る確率は40%です**」。さて、お出かけ時には「傘は持っていくのか?」悩みますよね。ならば! 1000年に1回や千分の一の確率と聞いて「自分の事だ」と意識するのは難しいですね。単純に「1日間の降雨量いくら」または「1時間の降雨量いくら」だけで十分じゃないのだろうか? 判りにくいから判断に悩むし、難しく感じてしまうからハザードマップを読まなくなる。やはり情報は、事前にわかりやすく簡単に伝えておくことが大切です。

しかし! それでも読まない人もいます。だから危機が迫ってくると想定されたとき「**切迫感を植え付けるこ**

とが重要」となる。そのためにはリアルな情報の発信だ。では!**リアルな情報**とは、どのようなものかを考えてみましょう。それは東日本大震災時のある地域の防災放送にヒントがあります。

茨城県大洗町の防災放送です。大洗町では、4メートルを超える津波に襲われながらも津波による死者が1人もなかった町です。大洗町の防災放送は、地震発生直後は、他と同じような放送をしていたようです。「大津波が発生しております。大至急高台に避難してください」。ところが途中から「**緊急避難命令・緊急避難命令。津波が役場前に到達しています! 住民の皆さんは大至急! 高台に避難せよ!**」と強い命令口調に変わりました。更には身近に感じる言葉「単語」を使用したのです。「海岸にいる方や津波浸水区域にお住まいの皆さんは…」→「市街地の低い所にお住まいの方は…」→「バス通りより下にお住まいの方は…」→「明神町から大貫角一の中通りから下の方は大至急避難してください」→最後に「大洗全域に避難命令」と、更には「大洗沖合50キロメートルで高さ10メートルの津波発生」→「津波第1波到達」→「津波第2波到達」→「津波第3波到達」といった様な聞き慣れた地名を使い、切迫感のある情報提供を住民に対して与え続けたことが、多くの人の命を守り功を奏したのです。



しかし「**地震による津波**」と「**水害による氾濫浸水**」では、命を守る情報伝達を阻害するものに違いがある。それは「**雨音だ!**」。今回の台風では、命を守る防災放送が**雨音**で聞こえなかった! いくら行政や消防が頑張っても情報を伝えようとしても雨音がすべて消し去ってしまったのです。ならば、命を守る切迫感のある防災放送も効力が薄くなる!



そこで大切なことは、各個人が情報を聞く努力を惜しまないことだ! 「この雨は常識外の降雨だ」「**自分のところは降っていないが山間地では豪雨らしい**」などと、短期間で良いので**気象に興味を持つこと**が大切です。『**普段と違う雨**』『**命を守る行動をとってください**』『**記録的短時間大雨情報**』『**特別警報**』など、普段聞かない言葉を聞いた場合は、あなた自身『**最大限の情報入手活動をスタートすること**』が必要です。



それこそが、あなたにしかできない! 自分と自分の大切な人を守る「**心のハザードマップ**」。さあ、あなた自身の「**心のハザードマップ**」を作りましょう!